

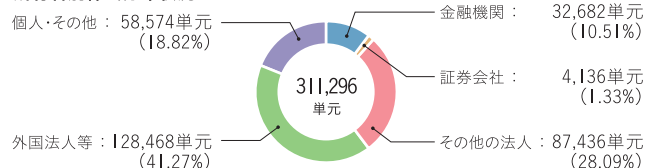
株式の状況

発行可能株式総数 106,752,000 株
 発行済株式総数 31,131,200 株
 株主数 5,172 名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社タマガミインターナショナル	8,017,200	25.75
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	2,200,000	7.06
JPM CHASE OMNIBUS US PENSION TREATY JASDEC ACCOUNT (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,876,400	6.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,245,500	4.00
玉上 進一	923,800	2.96
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	905,700	2.90
南部 靖之	900,600	2.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	826,800	2.65
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	791,700	2.54
MORGAN STANLEY & CO. LLC	734,502	2.35

所有者別株式分布状況



株式会社プレステージ・インターナショナル

〒102-0083 東京都千代田区麹町一丁目4番地

TEL : 03-5213-0826 URL : <http://www.prestigein.com/>

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 上記基準日 3月31日

その他臨時に必要な場合には、あらかじめ公告いたします。

配当金受領 期末配当 3月31日
 株主確定日 中間配当 9月30日
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

諸手続きに関しましては、みずほ信託銀行株式会社のホームページをご参照の上、行っていただきますようお願いいたします。

同連絡先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 0120-288-324(フリーダイヤル)
 (ご利用時間 9:00~17:00 土・日・休日を除く)

公告掲載方法 電子公告

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問合せ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社本店及び全国各支店 みずほ証券株式会社本店及び全国各支店

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行でお支払いいたします。



PRESTIGE INTERNATIONAL

FINANCIAL REPORT 2015

2014.4.1 - 2015.3.31



プレステージ・インターナショナルは、 クライアント企業とエンド・ユーザーの間に立ち、 “不便さ”を解消しています。

ロードアシスト事業

損害保険会社、自動車メーカーなどに代わってカスタマーコンタクト業務を担っています。車のトラブル時に24時間年中無休で緊急要請に対応し、ロードサービスを提供します。

プロパティアシスト事業

不動産管理会社や、駐車場運営会社に代わって、住まいのあらゆるトラブルへの駆けつけ対応や、コインパーキングなどで起こるトラブル対応・保守点検などをサポートしています。

インシュアランスBPO事業

海外旅行保険の被保険者に24時間日本語受付サービスやキャシュレス・メディカルサービスを提供する事業です。また海外駐在員向けヘルスケア・プログラムも用意しています。

フランティ事業

「フランティ=保証」をテーマに、クライアント企業とエンド・ユーザーの安心につながる自動車延長保証や家賃保証、住宅設備延長保証、介護費用保証などを展開しています。

カスタマーサポート事業

通販会社などのカスタマーサポート業務や損害保険被保険者からの緊急事故受付、海外駐在員向けのクレジットカードの運営サービスを展開しています。

その他、「ITソリューション事業」「派遣・その他事業」を展開しています。

▶ こんなところでプレステージ・インターナショナル



自動車のトラブルが発生したとき・・・

クライアント企業に代わって**24時間365日**、業者の手配や現場急行などの対応をしています。



海外旅行中に発病したとき・・・

クライアント企業に代わって、**24時間日本語**で対応し、提携医療機関でのキャッシュレス受診を手配します。

TOPICS

コーポレートロゴデザイン変更のお知らせ ～「社会貢献」を象徴するロゴで新たな一歩を踏み出す～

シンボルマークの外形である正方形は、世の中をトリミングしている窓を表しています。社会をよく見てみると、そこそこに、“P”の文字が見え隠れしている。

**時には目に見え、時には目に見えないところで、
プレステージ・インターナショナルは社会のために貢献したい。**

このシンボルマークはそのようなプレステージ・インターナショナルのあり方を形にしたものです。



富山BPOタウン始動により、事業体制が拡充。 新たな中期経営計画のもと、より成長速度を 加速させてまいります。

株式会社プレステージ・インターナショナル

代表取締役兼社長執行役員 **玉上 進一**

Q 第29期(2015年3月期)の経営環境や業績は いかがでしたか？

第29期は、国内においては秋田・山形・富山の3拠点運営に向けた体制構築、海外においてはインシュアランスBPO事業における業務拡大に備えた体制強化に注力してまいりました。

BPO業界では、企業収益・雇用改善など景気が緩やかに回復した影響から、顧客満足度の向上を目的としたアウトソーシングを積極化する動きが見られております。このような環境において、当社グループの2015年3月期の業績は主にロードアシスト事業及びインシュアランスBPO事業における既存受託業務が順調に拡大したことにより、売上高は前期比9.1%増となりました。利益面においては、適正人員の確保に取り組み一方で、円安進行や効率化などの原価抑制が奏功し、営業利益は同12.2%増の過去最高益を達成することができました。なお、経常利益は、持分法による投資利益などを営業外収益に計上したことから、同17.7%増となり、当期純利益は、2014年3月期に計上した投資有価証券売却益の影響がなくなったことから、同1.2%減となっております。

Q 最終年度となった中期事業方針の総括を お願いします。

当社グループは「新たなビジネスモデルと事業インフラの開発」「IT投資による効率化・差別化の深耕」ならびに「第2BPOキャンパス開設」を基軸とした中期事業方針を2012年5月に発表いたしました。

新たなビジネスモデルと事業インフラの開発においては、損保ジャパン日本興亜ホールディングスと合弁会社プライムアシスタンスを設立、安定した稼働に至った後も事業拡大を積極的に支援しています。IT投資においては、通信インフラの外販やモバイルアプリによる

サービスの効率化を推進いたしました。そして、第2BPOキャンパス開設においては、2013年11月に山形BPOガーデン、2015年4月に富山BPOタウンを開設し、新たなステージを迎えるための基盤強化に注力いたしました。

Q 今後の取り組みや見通しについて 教えてください。

継続的・安定的な成長を遂げるために、まずは秋田・山形・富山の3拠点における安定的な運用に向けた取り組みが最重要課題と考えております。その中でも、雇用環境の改善から当社グループのサービスを担う従業員の新規採用は厳しさを増しており、喫緊の課題と感じております。そして、構築してきた経営基盤を安定的・効率的に稼働させると共に、「付加価値創造企業」としての挑戦を継続していくため、5月12日には新中期経営計画を発表させていただきました。2016年3月期からの3期間は、当社でしか実現できない独創的なサービスの創造、高品質なサービスの提供、地方都市での雇用創造に注力してまいります。

2015年3月期 連結業績サマリー

	前期比
売上高	24,236百万円 9.1%増 ↑
営業利益	3,151百万円 12.2%増 ↑
経常利益	3,182百万円 17.7%増 ↑
当期純利益	1,957百万円 1.2%減 ↓

配当の状況

1株当たり配当金 **6円** (年間配当金11円)

地域の皆さまの力こそ、 私たちの成長の原動力。

当社は、地方都市において若年層や女性が夢を持って働ける雇用環境を創造し、地域社会に貢献することを基本戦略に掲げています。
2015年からは、秋田BPOキャンパスと山形BPOガーデンに加え、富山BPOタウンが重要拠点となりました。

■ 売上高(連結)
● 地方拠点従業員数

2015年 富山BPOタウン開設

当社は4月に富山BPOタウンを開設。120名規模で営業を開始しました。2015年度中には、200名体制となる計画です。

敷地面積：約64,000㎡
雇用人数：120名



2007年 秋田BPOキャンパス増設

2012年 秋田BPOキャンパス増設

2003年 秋田BPOキャンパス開設

東京本社内に開設したオペレーションセンターで、BPO受託業務を拡大してきた当社。人材の固定化・安定化を目指すと共に、「地方都市の活性化に貢献したい」という当社グループ社長の想いから、秋田BPOキャンパスを開設しました。

敷地面積：約46,000㎡ 雇用人数：1,650名

2013年 山形BPOガーデン開設

秋田BPOキャンパスが稼働率80%を超える状態になり、今後の案件増加を見据えて、秋田からほど近い山形に2013年、山形BPOガーデンを開設。ロードアシストサービスを中心に、業務を移管しました。秋田と同様に地方都市の活性化に貢献することを目指しています。

敷地面積：約38,000㎡ 雇用人数：350名

秋田、山形それぞれの 拠点での活動

秋田BPOキャンパス

⑤ 実力主義と女性の能力活用でモチベーションアップへ

開設当初の200名体制から、1,650名規模(2014年度)にまで拡大した当社の主力BPO拠点です。従業員の約7割が女性で、管理職はその約4割。厚生労働省が職場における男女格差の解消を推進する「ポジティブ・アクション」や秋田県が男女共同参画を推奨する「男女イキイキ職場宣言」に参画して女性の活用に取り組んでいます。2005年度から1年以上の在籍者を対象にした、正社員登録制度も導入しています。



女性を積極的に登用

スタッフ
Voice

育児しながらでも
働けるサポートに感謝。

入社後、育児休暇を2度取得し、妊娠中は通院休暇も利用しました。そして復帰後は、時短制度を使って上の子の幼稚園の送迎や家事の時間を取り、下の子は託児所を利用させてもらっています。託児所は送迎も便利で、イベントも楽しみです。子育てしながら長く働くためのサポートはありがたいと思います。



石井 由美子
秋田BPOキャンパス

山形BPOガーデン

⑤ 仕事と家庭の両立を積極的に支援

女性目線で職場改善を推進するプロジェクトに取り組んでいます。柔軟に設定できる勤務時間やキャリアアップを促す研修制度をはじめ、家族の皆さまのご理解をいただくための会社見学などを実施。若手女性社員を中心に、カフェメニューの提案や、現場スタッフの声を就労環境の向上に役立てる活動にも取り組んでいます。山形県が推進する「山形いきいき子育て応援企業」において最上級の「優秀企業」に認定されました。



女性が働きやすい環境を整備

スタッフ
Voice

モチベーション高く
働ける環境。

入社3年目ながらリーダーという立場になりました。年齢に関係なく評価してもらえる社風なので意欲が高まります。設備の整った環境は仕事に集中でき、社員食堂ではおいしいご飯もいただけます。「大事にされている」という実感から、自然と「お客さまのお役に立ちたい」という気持ちが生まれます。



原田 美乃
山形BPOガーデン

さらなる成長は富山からはじまる。 富山BPOタウン、誕生。

秋田BPOキャンパスのキャパシティが飽和状態となる中で、2015年4月に富山県射水市に開設した富山BPOタウン。「人と人を繋ぐ場所」そして「人々そしてさまざまな機能が集まり、活気あふれる場所にしたい」という想いを込めて「TOWN(タウン)」と命名しました。富山は自然災害が少ないうえ、北陸新幹線開業による東京からのアクセス向上や勤勉な県民性も魅力で、当社の事業継続計画、必要不可欠な拠点です。富山BPOタウンの従業員の約8割は地元出身女性。若い人も子どもを持つお母さんも働きやすいように、専属の保育士が勤務する託児所を設け、カフェテリアやATMも完備。従業員がオンとオフをしっかりと切り替えながら、豊かな時間を過ごすことができるよう配慮しています。3～5年後には1,000名体制となり、当社の事業成長を牽引するBPO拠点となることを目指しています。




Nursery

女性が結婚・出産を経てもお安心して働けるようにと願って整備された託児所。子どもを持つお母さんも心置きなく活躍できます。



Cafe Port

港町の射水市をイメージして「Port」と命名されたデリ・レストラン。明日への活力を養う憩いの波止場となるよう配慮しています。



Circle Avenue

施設名称の「タウン」をイメージさせる中庭。周囲を囲む部屋は会議室です。水景も配し、せせらぎが心地よく響きます。



Lounge

お客さまが控室としてご利用されるラウンジ。広々とした中庭を展望できる空間で、「気持ちがいい!」と好評です。



the terrace

お弁当を持ち込み、職場の仲間と賑やかに昼食をとることのできるテラス。木目調の造りで、温かみにあふれた雰囲気です。



Operation Room

1棟約350席のオペレーションルーム。ゆったりとしたスペースに自然光が差し込む開放的な空間です。入退室時には生体認証によるセキュリティチェックを行います。

社長の語る想いに惹かれて入社。

スタッフ
Voice

卒業後、富山へ帰郷した私は地元の知識もなく、進路に迷っていました。そんな時、母からスタッフを募集している企業があると聞いたのです。もともと「オープニングスタッフの募集があれば…」という思いもあったので、会社説明会に参加しました。その場で玉上社長に惹かれて今に至っています。富山BPOタウンへ初めて入った時は、華やかでクリエイティブな造りにとても驚きました。これから皆で富山BPOタウンを盛り上げていきたいと思っています!



山内 雅茂
富山BPOタウン

チームに助けられながら成長中。

スタッフ
Voice

現在、私は通信販売の電話注文をお受けする業務のリーダーを任されています。オペレーターからの質問に答えたり、指導したりと、業務の円滑な進行をサポートする仕事です。入社前は主に接客業しており、オペレーター業務は初めての経験。入社後、1年近く経ちましたが、まだまだわからないことばかりで、慌ただしく過ごしています。それでも毎日が充実しているのは、チームの雰囲気がいよからです。これからも皆で力を合わせて、頑張っていきます!



梅川 真里子
富山BPOタウン

スポーツという、 新たな地域貢献のかたち。

● 女性がより一層活躍できる場を目指して

地方都市で若年層や女性が夢を持って働ける雇用環境を創造し、地域社会に貢献することを基本戦略とする当社が、2015年からスタートさせたのが実業団スポーツです。スポーツを続けたい若者を雇用することで、安心して地元に戻ってくるのできる環境、そして女性がより一層活躍できる場を整備したいと考えています。秋田BPOキャンパスでは、バスケットボールチームを運営。将来は女子日本リーグ機構へ加盟し、Wリーグ参戦を目指します。また山形BPOガーデンでは、バレーボールチームを設立。2015/2016シーズンからV・チャレンジリーグIIに参戦します。それぞれの地域で馴染みが深く、また季節を問わずにできる競技種目を選びました。スポーツ教室の開催など、地域に根差した活動を通じて、地域の皆さまに愛され、共に成長できるチームを目指します。



選手 Interview



キャプテン
佐藤 円
さとう つぶら

実業団チームのお話をいただき、再び活躍できる場を与えていただいたことを本当に嬉しく思います。地元山形でバレーボールを続けられることに感謝し、応援していただいている分、本気で恩返ししたいと思います。山形は私にとって特別な場所ですので、皆さまに元氣や希望を与えられるように頑張ります。地域のバレーボール教室やイベントへ参加し、地域を盛り上げる力になりたいです。



選手 Interview



キャプテン
花田 遥歌
はなだ はるか

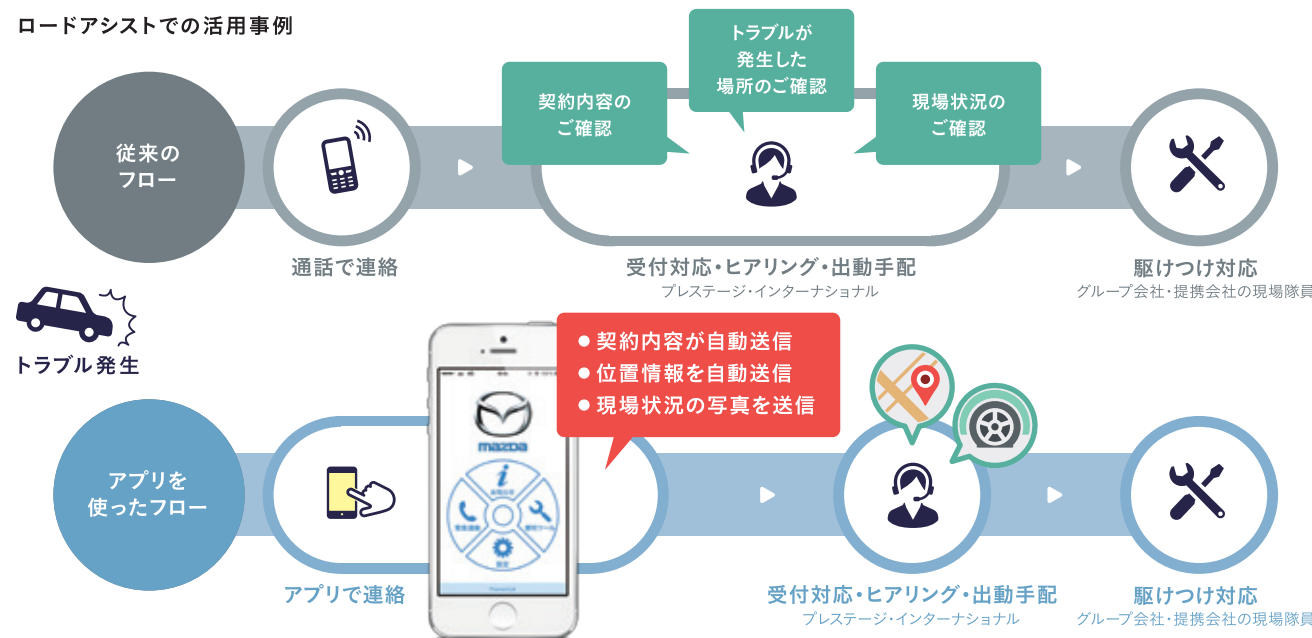
自分たちが一からチームを創り上げていけるということに魅力を感じ、入社いたしました。これからチーム一丸となってさらなるレベルアップを目指し、秋田の皆さまに感動と元氣をお届けできるように頑張っています。私たちはたくさんの方々のご理解とサポートがあって、毎日バスケットができています。皆さまの期待に応えられるよう、仕事とバスケットを両立して、愛されるチームを創っていきます。応援よろしくお願ひします。

BUSINESS HIGHLIGHT

クライアント企業とエンド・ユーザー双方の ニーズに応える新アプリ「Premier Call[※]」開発。

※特許 第5698858号

ロードアシストでの活用事例



エンド・ユーザーのメリット

出動までの時間15分(最大) → 2分に短縮!

迅速な対応で、 エンド・ユーザーに安心を

いまや携帯電話の過半数はスマホという時代。当社が担うロードアシストサービスにも、スマホからの入電が増えています。その利便性を活かすため、当社はクライアント企業とお客さまの双方に役立つアプリ「Premier Call」を開発。トラブル発生時にコンタクトセンターに電話をかけると、発信元の位置情報や契約内容などの確認時間が短縮されるうえ、現場写真の送受信によって安心・迅速なサポートが受けられます。

クライアント企業のメリット

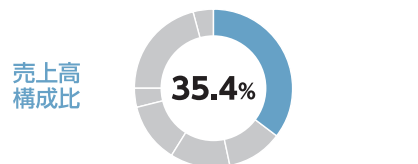
利便性向上で、エンド・ユーザーの信頼性向上

クライアント企業のニーズに対して、 多様なソリューションを提供

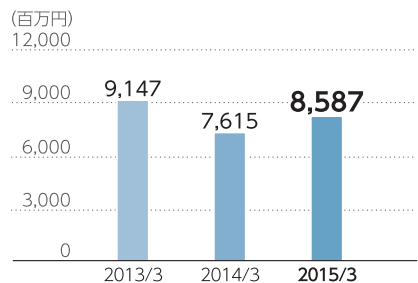
「Premier Call」を採用すると、クライアント企業にとってはトラブル発生時のお客さまの信頼性をより向上させることができます。また、PR情報の配信も可能で、お客さまとの連絡窓口としてマーケティングにも有効なツールとなります。当社は2014年、モバイル向けアプリ開発会社をグループ傘下で設立しました。グループとして多彩な機能と強みを持ち、クライアント企業の要望にさまざまなソリューションでお応えします。

■ ロードアシスト事業

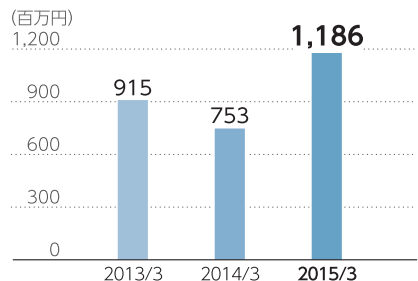
主に損害保険会社向けのサービスにおいて既存受託業務が順調に拡大したため、増収となりました。営業利益については、サービス利用に伴う費用の抑制やシステム化による手配工数削減などが奏功し、増益となりました。



売上高 前年同期比 **12.8% 増** ↑

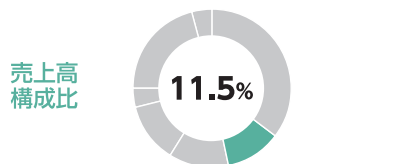


営業利益 前年同期比 **57.5% 増** ↑

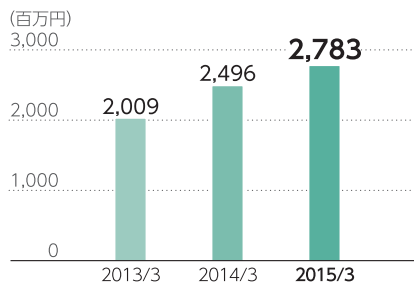


■ プロパティアシスト事業

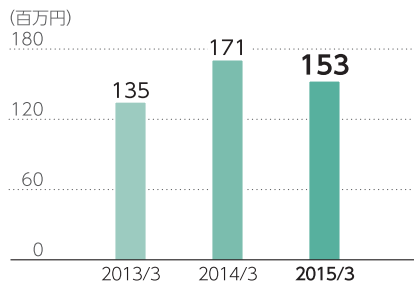
主に不動産向けサービスにおける既存受託業務の成長により、増収となりました。営業利益については、フィールドワーク専門子会社における機能強化のための先行投資や一部業務における単価減などの影響により、減益となりました。



売上高 前年同期比 **11.5% 増** ↑

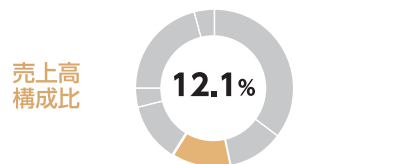


営業利益 前年同期比 **10.9% 減** ↓

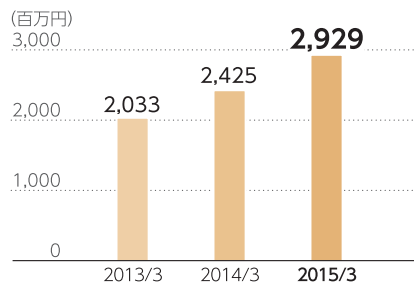


■ インシュアランスBPO事業

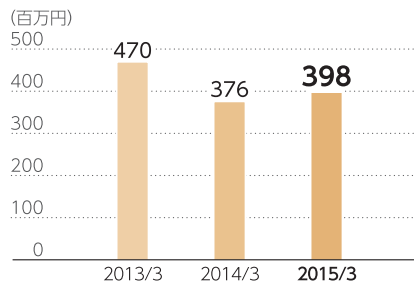
海外関連事業(クレームエージェントサービス、ヘルスケア・プログラム)が堅調に拡大したことにより、増収となりました。営業利益については、海外拠点の拡大などの先行投資が発生したものの、円安進行と売上高の拡充で吸収し、増益となりました。



売上高 前年同期比 **20.8% 増** ↑

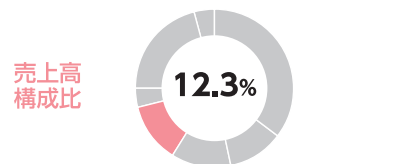


営業利益 前年同期比 **5.9% 増** ↑

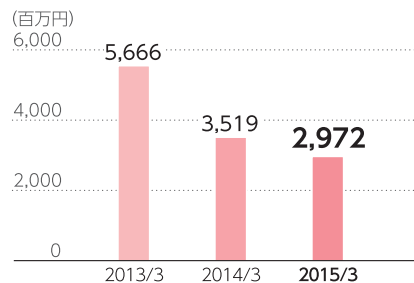


■ ワランティ事業

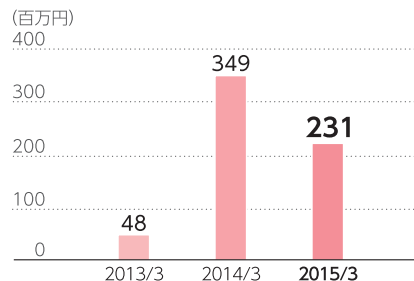
自動車延長保証における新車販売の停滞や自動車メンテナンスプログラムの既存受託業務終了、家賃保証プログラムにおける契約内容変更の影響により、減収減益となりました。



売上高 前年同期比 **15.5% 減** ↓

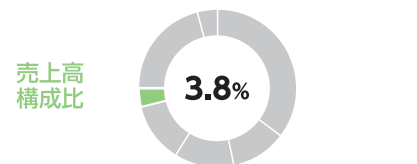


営業利益 前年同期比 **33.9% 減** ↓

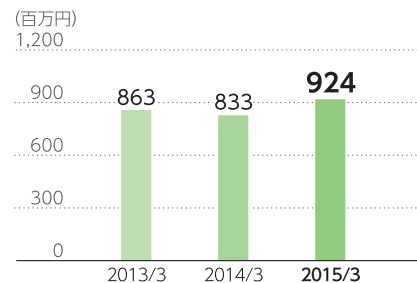


■ ITソリューション事業

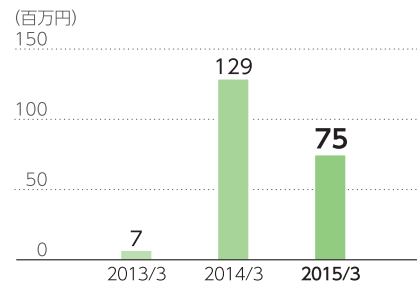
IT関連子会社において、既存受託業務が堅調に推移し、増収となりました。営業利益につきましては、新規事業の立ち上げによる費用増加の影響により、減益となりました。



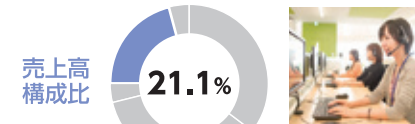
売上高 前年同期比 **10.9% 増** ↑



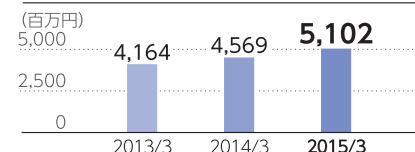
営業利益 前年同期比 **41.4% 減** ↓



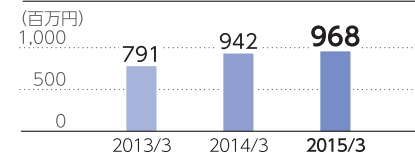
■ カスタマーサポート事業



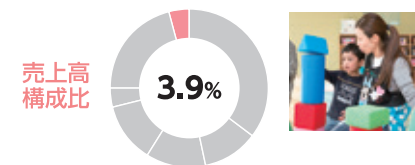
売上高 前年同期比 **11.7% 増** ↑



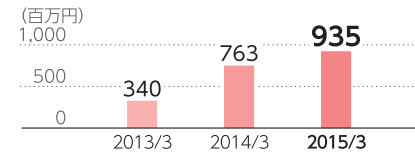
営業利益 前年同期比 **2.7% 増** ↑



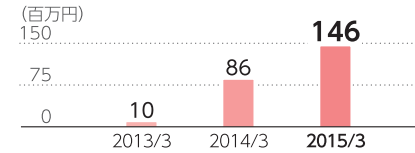
■ 派遣・その他事業



売上高 前年同期比 **22.5% 増** ↑

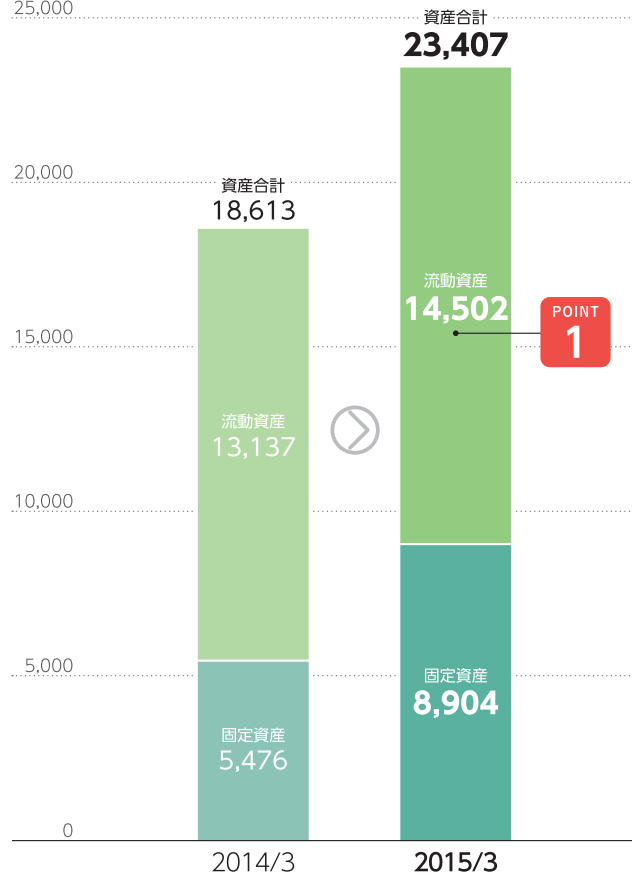


営業利益 前年同期比 **70.0% 増** ↑



資産の部

(単位:百万円未満切り捨て)

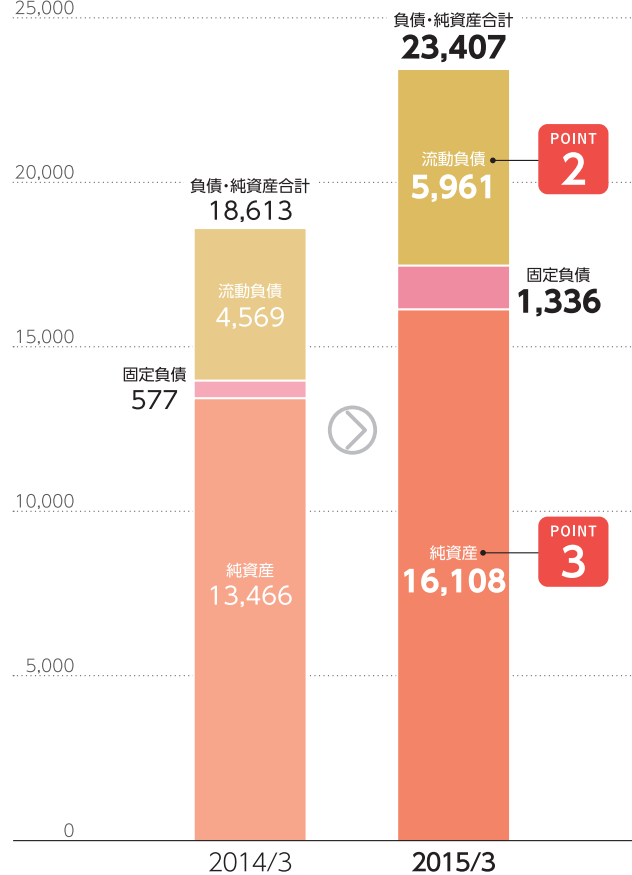


POINT 1 資産の部

流動資産は、現金及び預金が654百万円増加、有価証券が365百万円減少、立替金が640百万円増加、その他が459百万円増加し、流動資産は前期末よりも1,365百万円増加いたしました。

負債・純資産の部

(単位:百万円未満切り捨て)



POINT 2 負債の部

流動負債は、未払金が531百万円増加、流動負債のその他が946百万円増加となりました。負債合計では前期末より2,150百万円増加し、7,298百万円となっています。

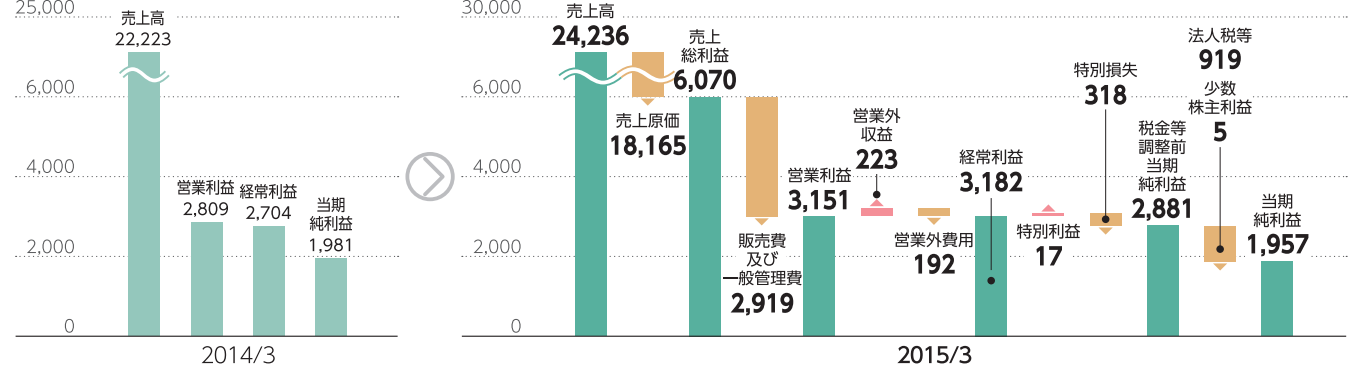
POINT 3 純資産の部

利益剰余金が1,649百万円増加したことなどにより、純資産は前期末比2,642百万円増加し、16,108百万円となりました。また、自己資本比率は68.4% (前期末72.0%) となっています。

損益の概要

POINT 4

(単位:百万円未満切り捨て)



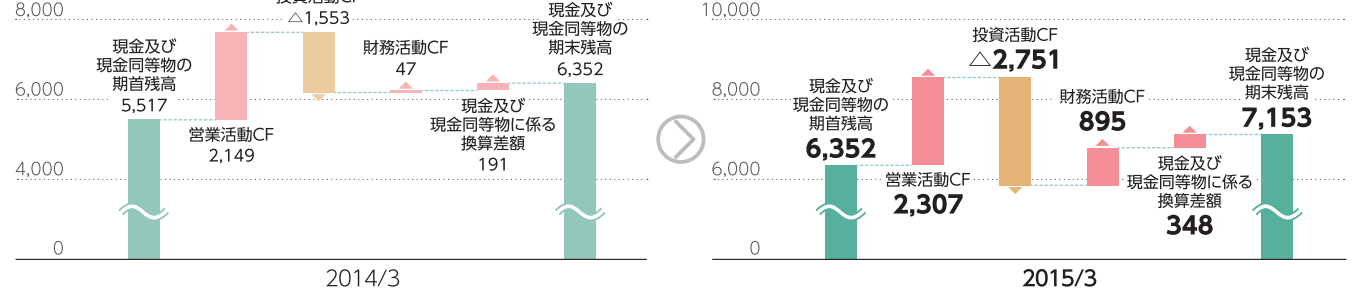
POINT 4 営業利益において過去最高益を達成

売上高はロードアシスト事業やインシュアランスBPO事業をはじめとした既存受託業務を中心に事業が堅調に拡大し増収となりました。利益面においては、適正人員の確保に取り組むと同時に原価抑制を行った結果、営業利益は過去最高の3,151百万円を達成することができました。なお、当期純利益においては、投資有価証券売却益の影響がなくなったことから、減益となっています。

キャッシュ・フローの概要

POINT 5

(単位:百万円未満切り捨て)



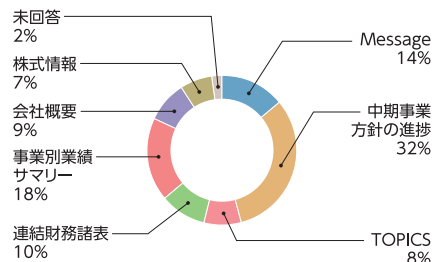
POINT 5 フリー・キャッシュ・フロー -443百万円、積極的な設備投資を実施

営業活動キャッシュ・フローは、2,307百万円の収入となりました。投資活動キャッシュ・フローは主に富山BPOタウンの建設などにより2,751百万円の支出となりました。一方、財務活動キャッシュ・フローは、長期借入れによる収入などにより895百万円の収入となり、現金及び現金同等物の期末残高は、前期より800百万円増加して7,153百万円となりました。

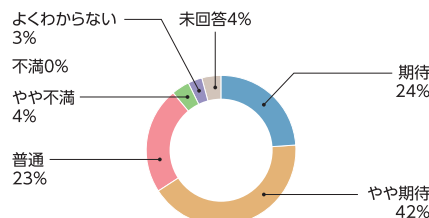
アンケートへのご協力を誠にありがとうございました。当社グループでは、株主の皆さまのお声を伺い、株主様とのコミュニケーションの充実を図っていきたくと考えております。4回目となる株主様アンケートも、株主の皆さまよりご回答ならびに温かいご支援のお言葉をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。いただきましたご意見は、積極的に経営に活かしてまいります。集計結果、株主の皆さまのお声の一部をここにご紹介いたします。

アンケート結果

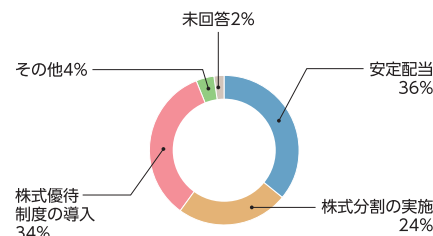
FINANCIAL REPORT でご興味を持たれた内容は何か?



当社の現状をどのように評価されますか? [BPO 拠点の拡大]



当社の株主還元政策として、何を最も期待されますか?



株主の皆様からいただいた声 (一部抜粋)

先日ロードサービスにお世話になりました。とても感じが良く、助かりました。後日貴社のアシストサービスだとわかり買い増しをしました。これからも少しずつですが買い増しをして応援したいと思います。

—— 関東・主婦パート・50代

大変嬉しいお声をありがとうございます。ロードサービス実務を担う「プレミアアシスト」は、「人に対するケアサービス」をコンセプトに、「感謝・感動」を追求したサービスの提供を日々、目指しております。今後も皆さまに喜んでいただけるよう、サービス品質の向上に取り組んでまいります。

事業内容をもっとわかりやすく紹介していただきたい。

—— 北海道・専門職・30代・男性 他

貴重なご意見をありがとうございます。当期より「イントロダクション」として事業概要を紹介するページを設けさせていただきました。当社グループの事業は多岐にわたり、なかなかイメージがしにくい部分もあるかと存じますが、今後も少しでも皆さまにわかりやすいと感じていただけるコンテンツ作りを努めている所存です。

株主総会を首都圏でも2、3年に1回は行ってほしいです。

—— 関東・会社員・30代・男性 他

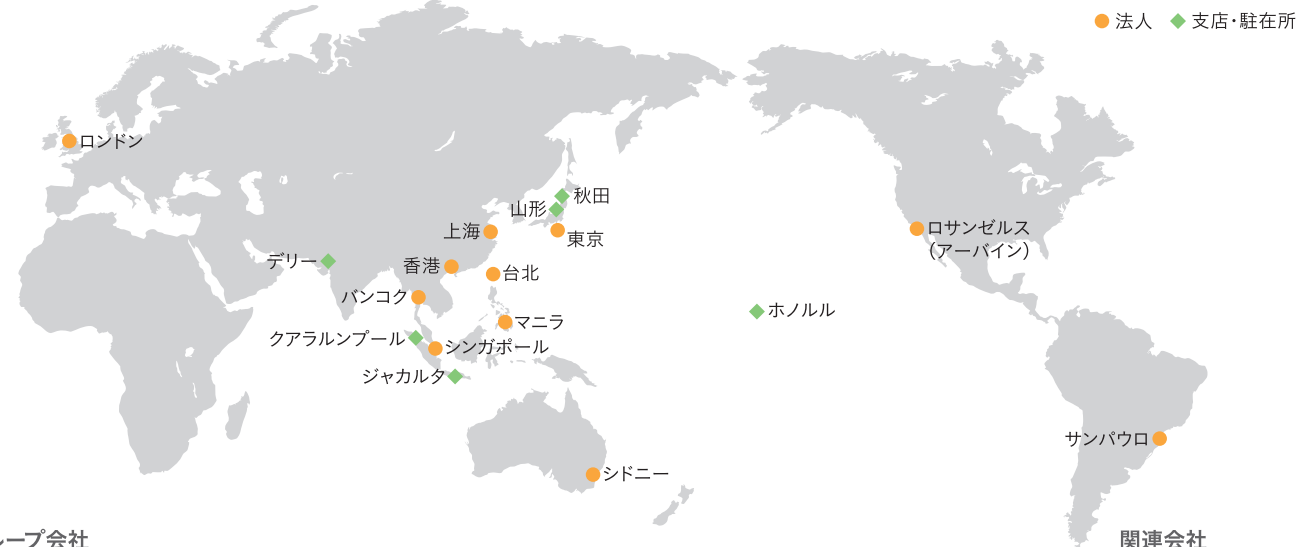
平素よりご支援賜りましてありがとうございます。弊社はかねてよりBPO拠点において株主総会を実施しておりますが、これには弊社BPO拠点の設備をご覧いただきたいという意図がございます。今年度は首都圏にお住まいの皆さまにも足を運んでいただきやすいよう、富山BPOタウンでの開催とさせていただきます。今後につきましては、株主の皆さまのご意見を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。

個人投資家様向けイベントのご紹介 (2014/4~2015/3)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	個人投資家向け説明会 (富山・高岡)	東証+YOU (秋田)			個人投資家向け説明会 (秋田・山形)	個人投資家向け説明会 (大阪)	ブリッジ・サロン (東京)				個人投資家向け説明会 (富山)

ネットワーク

(2015年3月31日現在)



グループ会社

国内

Prestige Humansolution Inc.
Time Commerce Co., Ltd.
Premier Assist East Inc.
Premier Assist West Inc.
All Assist Inc.
Premier Property Service Inc.
Entrust Inc.

Premier IT Solution Inc.
Premier Park Assist Inc.
Premier X-value Inc.
Premier Lotas Network Inc.
Triple Ace Inc.
Premier Mobile Solution Inc.
AppGT Inc.
Premier Aid Inc.

米州・欧州

Prestige International USA, Inc.
Prestige International U.K. Ltd.
Prestige International Brazil Participations Ltd.

アジア・オセアニア

Prestige International (S) Pte Ltd.
PRESTIGE INTERNATIONAL CHINA CO., LTD.
PRESTIGE INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.
Prestige International (HK) Co., Limited
PRESTIGE INTERNATIONAL AUSTRALIA PTY LTD.
P. I. PHILIPPINES, INC.
臺灣普萊斯梯基有限公司

関連会社

Prime Assistance Inc.
(損保ジャパン日本興亜ホールディングスとのジョイントベンチャー)

会社概要

(2015年3月31日現在)

会社名 株式会社プレステージ・インターナショナル
Prestige International Inc.
設立 1986年10月
資本金 12億1,621万円
本社所在地 〒102-0083 東京都千代田区麹町一丁目4番地
事業内容 ビジネス・プロセス・アウトソーシング
従業員数 2,616名 (連結)
拠点 世界14ヶ国 17拠点
URL <http://www.prestigein.com/>

会社役員

(2015年6月23日現在)

代表取締役兼社長執行役員 玉上 進一
取締役兼副社長執行役員 八久保 勝也
取締役兼常務執行役員 関根 浩
取締役(社外) 大向 尚子
監査役(常勤) 吉田 範夫
監査役(常勤) 金山 武志
監査役 三上 純昭
監査役 神門 いづみ